

温

おん

(思いやりのある子)

強

ごう

(がんばり抜く子)

活

かつ

(進んで学ぶ子)

山口市立小郡小学校
2019 年度 校長室だより

第 20 号

〈R. 元.10 .30 〉

小郡小ふれあいフェスタ 盛況でした

今年、初めての試みとして、「T-1 グランプリ」を開催しました。自分の特技をみんなの前で披露するものです。昨年までの様子を見て、子どもたちが受け身ではなく、もう少し主体的にフェスタに関わってほしいと感じていたので、新しい試みとして提案し、実施することができました。

- 出演者
- ① 5年生あるある (5年 岩崎君・鬼木君・西米君・山下君)
 - ② 膝小僧で歩く (4年 西村君)
 - ③ こま回し (2年 三瓶君・末岡君・林君・山根君)
 - ④ けん玉 (4年 山田君)
 - ⑤ 指遊び (親父の会 高野さん)
 - ⑥ 歌と踊り「パプリカ」(本校若手教員・・藤本・坂井・内田と子どもたち)



一番ほめたいのは、4年の西村君と山田君です。たった一人でみんなの前に立って発表する勇氣、あっぱれです。高野さんのお父さんもです。また、5年生の4人と2年生の4人も、出演には勇氣がいったと思います。よく誘い合って出てくれました。

次に、田村会長・上田副会長の名コンビ司会。衣装もバッチリでした。そして、本校の若手3人娘。最後を盛り上げ、締めくくってくれました。来年は、もっとたくさんの方が出演して、個性を発揮してほしいです。

恒例になっている本の読み聞かせもしていただきました。T-1 グランプリと時間が重なってしまって今年は聞きに行けず、残念だったのですが、本のコーナーでは、毎年、新しい企画がされていて感心します。

役員の皆様には、何カ月も前から準備していただき、前日、当日と大変お世話になりました。ありがとうございました。

キラリ ◆ 小郡っ子

「やってみよう！」を合言葉にして、まずは色々なことに挑戦してみることを子どもたちにはずっと勧めてきました。できることを増やして、自己肯定感を高めてほしいと願っているからです。先日、2年生の男の子と話した時に、こんなことを言ってくれました。「先生、ぼくね、『やってみよう』で苦手な大縄跳びをやってみたら、できるようになったんよ。」 うれしいなあ。